

## 国内委員会(NC)年次報告書への事務局長からのお礼

皆さま

年の瀬を迎えるにあたり、国内委員会(NC)とその会員の皆様が我々のジェンダー平等および女性のエンパワーメント向上の活動を長きにわたって支援してくださっていることに心から感謝申し上げます。

2015年は我々にとって注目すべき年でした。北京宣言及び行動綱領採択20周年にあたり、9月には国連総会が持続可能な開発のための2030アジェンダを採択しました。持続可能な開発(SDG)には17のゴールが設定されており、その5番目に独立した項目としてジェンダー平等があげられています。またジェンダー平等は他のすべてのゴールを支える位置づけになっており、今や開発アジェンダの中心にジェンダー平等が据えられたのです。

これはUN Womenが9月27日に共催した「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関するグローバルリーダーズ会議：行動へのコミットメント」でさらに確実になりました。この会議で世界中のリーダーが2030年までに女性への差別を根絶すると自ら約束しました。89カ国に上る政府が自国に速やかな変革を起こすべく具体的かつ測定可能な行動計画を発表しました。これは国家元首及び政府の長が一堂に会し、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けた公約をはっきり表明した歴史的な出来事です。

2015年はまた国連安全保障理事会が女性・平和・安全保障に関する決議1325を採択した15周年にあたります。10月13日の安保理の公開討論で私は「女性・平和・安全保障・人道支援促進グローバルメカニズム」を立ち上げました。ことに昨今の暴力を伴う過激主義、移民、難民の問題が女性・女兒に新しい課題を突きつけており、このイニシアティブが一層重要になっています。

今年、国連は8000万人の女性・男性・子



ブムズイレ・ムランボ=ヌカカUN Women事務局長

どもに対する人道支援と保護を訴えています。この活動を支えていくには警察、軍隊、国連平和維持活動にもっと女性が参加することが必要です。UN Womenの活動を経済的に支援してくださっている国内委員会にあらためて心から感謝の意を表したいと思います。そのおかげで我々は女性の経済的エンパワーメント、女性に対する暴力根絶、大きな被害を及ぼしたバヌアツ、ネパールの自然災害に取り組むコミュニティーへの支援ができるようになったのです。

私はNCがジェンダー平等、女性のエンパワーメントをそれぞれの国で、また国際的に推し進めようとしていらっしゃる努力に心からお礼を申し上げたいと思います。UN Womenは世界14カ国にあるNCとのパートナーシップをさらに強化していきたいと考えています。一緒にブラネット50-50を2030年までに達成しようではありませんか。カウントダウンはもう始まっています。

ブムズイレ・ムランボ=ヌカカ 国連事務次長、UN Women事務局長

(理事 本田敏江 訳)